

夜間中学へ行こうよ!

学校に来て「こんばんは」というと
みんなの返事がかえってくる。
その声を聞くと 今までの出来事が
よいことも あるいことも かなしいことも
みんな消えて 学校に来たよろこびで
いっぱいになってくる。

横山隆一

(「こんばんは」第77回キネマ旬報文化映画ベスト・テン第一位)

夜間中学ドキュメンタリー

文部科学省選定

監督：森 康行

ナレーター：大竹しのぶ

こんばんはⅡ

制作・著作：夜間中学校と教育を語る会

編集：古賀 陽一 選曲：八重樫 健二 撮影協力：川越 道彦

2019年制作/DVD/ドキュメンタリー/カラー/37分

プログラム

日時

令和4年

12月11日(日)

場所

レイグラッツェふじ(平安の間)
新居浜市高木町3-2

第一部

13:30~ 受付

14:00~ こんばんはⅡ上映

14:40~ 基調講演

城之内 庸仁氏

第二部

15:50~ シンポジウム

16:10 終了



城之内 庸仁氏 プロフィール

一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会 理事長

全国夜間中学校研究会 理事

三豊市における夜間中学協議会 委員

基礎教育保障学会 理事

香川県三豊市における公立中学校夜間学級在方検討委員会 副委員長

岡山市における公立夜間中学の在り方検討会 委員

主催：愛媛に夜間中学校をつくる会

お問い合わせ：080-6380-0393 (事務局 小野)

お申し込みはこちら



入場
無料

整理券が必要です。



城之内 庸仁氏 プロフィール



広島県府中市生まれ。香川県初となる公立夜間中学である三豊市立高瀬中学校夜間学級英語科教諭。岡山県内で学び直しを望む人のために2017年4月、中国地方初となる「自主夜間中学校」を立ち上げた。2018年12月に一般社団法人として、岡山自主夜間中学校の運営をスタート。2019年8月大阪市で開催された公立夜間中学の増設を求める「夜間中学校を増やそう、充実させようシンポジウムin近畿」(全国夜間中学校研究会・夜間中学等義務教育拡充議員連盟共催)で岡山の取組みを発表、2020年2月には、馳浩元文部科学大臣と岡山市でシンポジウムを開催し、2020年9月には、映画「学校」(監督 山田洋次)で西田敏行が演じた黒井先生のモデル見城慶和氏とトークセッションを開催。また、部落解放研究第53回全国集会(名古屋国際会議場)では、基礎教育を保障する識字学級・日本語学級・夜間中学校に関する実践報告に招聘される。信州大学、宇都宮大学、岡山大学、岡山理科大学等の大学や公民館など全国各地で、講義、講演をおこなう。香川県初となる三豊市の公立夜間中学の設置や石川自主夜間中学校、山口自主夜間中学校の設立に大きく寄与する。岡山をはじめ全国各地で、夜間中学の必要性や「公立夜間中学」の設置を求めて尽力する。NHK Eテレ「ハートネットTV」NHK総合「ニュースウオッチ9」「ニュース7」TBS「NEW23」をはじめテレビ各局や新聞各紙(日経、読売、産経、山陽新聞他)で岡山自主夜間中学校の取組みが報道され注目を集めている。国際ロータリークラブ第2690地区第11グループ岡山城ロータリークラブよりキャスル賞、一般社団法人ワンダーシップよりワンダーシップ賞を受賞する。2018年の西日本豪雨で避難所が開設された倉敷市立岡田小学校にも通い、約1ヶ月間、被災した子どもたちの学習支援にも携わった。

義務教育未修了の方は百数十万人

政府の統計では、学歴がゼロという方だけでも128,187人います。さらに小学校のみ卒業、中学校中退、義務教育猶予の障がい者、ほとんど実質的に学ぶことができず、形だけ卒業してしまった不登校経験者、外国につながる人などを加えると、その数はさらに多くなります。

※令和2年10月時点において、未就学者は約9万4千人(前回約12万8千人)、最終卒業学校が小学校の方は約80万4千人(今回初めて調査)。

公立夜間中学と自主夜間中学

2019年4月現在、公立夜間中学は9都府県に33校。開設に向けて各地に動きがあるものの、限られた地域にわずかしかないため、義務教育未修了者の学びの願いにはボランティア団体が運営する「自主夜間中学」がかすかに応えているのが現状です。この映画には公立と自主の両方の夜間中学が描かれています。(R4年10月時点 公立夜間中学校 15都道府県40校・自主夜間中学校 全国約40校)

学ぶことは
生きること

全ての人に
学ぶ権利がある

その声を社会全体の常識に!

〈基本的な学びは、年齢・国籍などにかかわらず、どんな人にも生きるためになくしてはならないものだ〉この映画に登場する人たちがそれを証言しています。国や自治体はこれに応える責任があります。また、学べなかったことを自分のせいにしてひっそり生きてきた人たちに、そうではない、今からでも遅くない、ぜひ学んでほしいと声を大にして呼びかけていきましょう。

